



市民のくらしを 第一にした、市政に転換を

吹田市議会

の10月定例会(10月2日~23日)についての日本共産党議員団発行のこの「市議会報告」は、総選挙期間中の発行を避けたのでおそくなったことをご了承ください。

日本共産党からは代表質問を倉沢さとし議員、本会議での個人質問を村口はじめ、山根たかし、そろり邦雄各議員がおこないました。

代表質問では

- 政府による自衛隊のイラク派遣、憲法9条改定の動きについて、非核平和都市を宣言している吹田市の市長としての見解は？
- 消費税の増税も論議されているが逆累進の最悪の大衆課税であり、市民の立場で反対を表明すべきだ。
- 吹田操車場跡地へのモノレールと地下鉄の延伸など市長の選挙公約は大型公共事業の“乱発”だが、一体いくらかかるのか。
- 作業所など市内32カ所の障害者施設を議員団として訪問し要求を聞かせてもらったが、切実な要望についてはただちに実現すべきだ。
- 特別養護老人ホームやグループホームの建設に具体的な支援を。
- 家庭ごみの収集有料化反対、事業系ごみの減量化を徹底すること。
- 山田駅前公共施設計画など市内各地の街づくりは住民参加で。

個人質問では

- 学校トイレの全面改修、学校図書館の図書充実、古い公民館の建てかえ。商工振興を。
- ディーゼル排ガス規制と対策を急げ、貨物駅移転反対。乳幼児集団健診の充実を。
- マクドナルドハウス建設問題(その後、藤白台4丁目用地以外を選考することに変更)。豊能広域こども急病センターについて。

急病の子を、箕面まで連れて行けというの？



吹田市は豊中、池田、箕面各市といっしょになって、箕面に「豊能広域子ども急病センター」を設置し、来年4月から休日や夜間の小児救急を1カ所でみようとしています。

医師不足が理由ですが、昨年度の吹田の市民病院と休日診療所(南千里)

にかかった小児科救急患者は17,437人。こんなに多い急病の子どもを箕面まで連れて行けというのでしょうか？

日本共産党は、引き続き市民病院などで受け入れることができるように議会内外で要求しています。

日本共産党

吹田市内の32カ所の障害者作業所などを訪問

そこで出された要望・意見の数々(8月25日、9月24日、26日)

- 府の医療費助成制度が後退すれば障害者は大変こまる。
- 支援費支給制度に変わり企業参入が増え、提出書類の事務量が増えた。
- ガイドヘルパーのプールはやっとOKになったが、会議参加には認められていない。
- 就労の場が少ない。職員が一生働き続けられる身分保障を。
- 補助金は現場で必要なものを積み上げて決めるようにしてほしい。
- 厚生年金加入期間と国民年金加入期間のはざ間で生まれている障害年金を受給できない人の問題を解決してほしい。
- 年金保険料を払っていない時に障害が決定すれば障害年金は受けられない。